

～生鮮野菜の安定調達を目的に、広島県安芸高田市でレタスを生産～

## 「モスファーム広島」安芸高田農場を設立

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役社長：中村 栄輔、本社：東京都品川区）では、モスバーガー店舗で使用する生鮮野菜の安定した調達と、産地との協力体制強化を目指して、広島県安芸高田市高宮町羽佐竹に、株式会社モスファームすずなり<sup>※1</sup>の運営による「モスファーム広島」安芸高田農場を、2020年6月10日（水）に設立します。

※1 2014年に当社と株式会社鈴生、ならびに個人生産者などと共同出資し設立した農業生産法人

2021年春よりレタスの栽培を開始する計画です。新農場が生産するレタスの年間収穫総量は約360トンで、このうち当チェーンで使用する量は約100トン（モスバーガー年間使用量の約6%）を見込んでいます。これにより、モスファームは全国で8例目となり、中国・四国地方では初めてです。

### ■モスファームの設立状況

2006年	(株)モスファーム・サングレイス（静岡県菊川市）
2013年	(株)モスファーム熊本（熊本県八代市）
2014年	(株)モスファームすずなり（静岡県磐田市）、(株)モス・サンファームむかわ（北海道勇払郡むかわ町）
2015年	(株)モスファームマルミツ（熊本県八代市）、(株)モスファーム信州（長野県小諸市）
2017年	(株)モスファーム千葉（千葉県富里市）
2020年	(株)モスファームすずなり 広島支店（広島県安芸高田市）

「モスファーム広島」安芸高田農場は、広島県安芸高田市に農地、集荷場をもち、総面積は約8.5ヘクタール（約25,500坪）となります。安芸高田市高宮町は中山間地域で朝は霧がかかることが多いため、適度な気温差と湿度があり、食味のよい野菜を作りやすい環境にあります。過去の気象データから台風被害が少ない地域であり、気象災害のリスクを低減することが可能な場所です。



【農場看板イメージ】

今回運営を担う株式会社モスファームすずなりは、静岡県磐田市、菊川市、袋井市に農場を保有し、総作付面積は約30ヘクタール（約90,000坪）です。冬期のレタス、夏期の枝豆の生産により、年商は約1.5億円です。2014年に農場を設立し順調に規模を拡大してきたものの課題も多くあります。まず、優良農地の確保が困難な点があります。地域貢献のために耕作放棄地を率先して借り入れていることから、現在の農地は約100ヶ所に分散しています。農地が分散化すればするほどコストが増え、大規模化、機械化、効率化の農業経営の実現が難しくなります。また、静岡は過去6年のシーズン中に10回の台風被害に遭い、強風による作物被害、畑の水没などの大きな被害も受けています。静岡の農閑期（5-7月、9-11月）にレタスの生産ができ、台風被害が少なく、1ヶ所に大規模な農地が確保できる地域として、安芸高田市が最適と判断し開設に至りました。

また、「モスファーム広島」安芸高田農場では、GAP方式<sup>※2</sup>による農場管理を通じて、安全・安心な農場運営の実現を目指します。そして、中山間地域に新たな雇用を生み出すとともに、農業経営者を目指す若手人材を積極的に採用し育成する計画です。

※2 GAP（＝ギャップ・Good Agricultural Practice）：食品安全、環境保全、労働安全、品質向上などさまざまな目的で、「適切な農業生産を実施すること」（農林水産省HPより）

モスフードサービスでは、「人間貢献・社会貢献」の経営理念のもと、「おいしさ、安全、健康」という考え方を大切にした商品を「真心と笑顔のサービス」とともに提供することに一貫して取り組んでいます。食全般に対する関心が高まる中、外食産業と農業生産現場との協働は必要不可欠な要素となりつつあります。当社ではあらゆる角度から実りのある協力体制を模索し、日本国内の農業や地域社会へ貢献していく考えです。

### <「モスファーム広島」安芸高田農場 概要>

- 農場開設 : 2020年6月10日(水)
- 生産開始 : 2021年春
- 運営 : 株式会社モスファームすずなり(農業生産法人)広島支店
- 資本金 : 1億5000万円
- 所在地 : 広島県安芸高田市高宮町羽佐竹
- 代表者 : 代表取締役社長 鈴木 貴博(株式会社鈴生 代表取締役社長)
- おもな役員 : 取締役 佐藤 秀行(株式会社モスフードサービス 商品流通部  
アグリ事業グループ シニアリーダー)
- 施設 : 安芸高田農場(広島県安芸高田市) 約8.5ヘクタール
- おもな出資者 : 株式会社モスフードサービス、株式会社鈴生  
アグリビジネス投資育成株式会社

### <参考>

#### ◇『モスの生野菜』について

モスでは良い土がおいしくて健康な野菜を育てると考え、全国約100産地、約2,700軒(2020年度)の協力農家により、農薬や化学肥料に極力頼らない方法で栽培された安全・安心な野菜を、『モスの生野菜』と呼んでいます。モスバーガーのお店では、日々届く生野菜の主な産地と生産者を店内に掲示し、「生産者の想いが見える野菜」としてご提供しています。

また、2019年度からMOS-GAP点検<sup>※3</sup>を全産地にて実施し、食と農業者の安全・安心のため、継続的に改善活動に取り組み、協力農家との絆を強くし、さらなる品質向上に繋げていきます。

※3 当社が独自に作成したGAP点検システムで、217項目の点検事項で構成しています。農水省のGAPガイドラインに準拠しています。

#### ◇株式会社鈴生(すずなり)について

2003年よりモスとの契約栽培を開始。主に東日本のモスバーガー店舗に、特別栽培農産物(農薬散布回数、化成窒素施肥量、当地比5割減)のレタスを供給している農業生産法人です。

株式会社鈴生では、現在、静岡県内で約160ヘクタールの農場を運営しています。今回、初めて静岡県外での農場展開となります。次世代を担う新たな農業経営を目指し、太陽光型植物工場、物流会社などもグループ内で運営しています。

- 資本金 : 1,000万円
- 売上高 : 8.5億円



#### <報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報 IR グループ TEL. 03-5487-7371 FAX. 03-5487-7389

<https://www.mos.co.jp/company/> E-mail. [pr@mos.co.jp](mailto:pr@mos.co.jp)

#### <お客様からのお問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-300900